

第198回通常国会

立春を過ぎて暦の上では春を迎えましたが、建国記念日で3連休となった日本列島は猛烈な寒波に覆われ、北海道の十勝地方などでは最低気温がマイナス30度近くに達するなど、記録的な寒さとなりました。スキージャンプの小林陸侑選手をはじめ、日本選手の活躍が各地から伝えられた冬期スポーツも終盤を迎えています。米国アナハイムで開催されたフィギアスケート4大陸選手権は、男子の宇野昌磨選手、女子の紀平梨花選手、両選手ともショートプログラムでの出遅れをフリーで跳ね返し、見事な逆転優勝を飾りました。来月には、さいたまスーパーアリーナで世界選手権が開催されます。両選手をはじめ日本選手の活躍が大いに期待されます。

さて、1月28日に召集され第198回通常国会は、安倍首相の施政方針演説等に対する各党代表質問に続いて、衆参の予算委員会において平成30年度第2次補正予算案の審議が行われ、2月7日の参議院本会議にて可決成立しました。引き続き、衆議院予算委員会は平成31年度予算案の審議を行っていますが、国の基幹統計の一つである厚労省の毎月勤労統計調査の不適正な実施により、雇用保険、労災保険等の支給に不足が生じた問題等を取り上げ、野党は政府の責任を厳しく追及する姿勢を示しています。18日には、この統計問題に関して衆議院予算委員会で集中審議を行うなど、予算の早期成立に向けた与野党の調整が続いています。

また、与党内では政府提出法案の党内手続きが順次進められています。厚生労働省関係では、今国会に提出予定の5本の法律案うち、「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律案」が15日に閣議決定され、国会に提出されました。

この改正法案では、

- ①保険医療機関での被保険者の資格確認に個人番号カードによるオンラインシステムを導入するため、被保険者記号・番号を現行の世帯単位から個人単位毎に定めること。
- ②医療機関・薬局でのオンライン資格認証システムの初期導入経費を補助するため、「医療情報化支援基金」創設すること。
- ③国が保有する、医療保険レセプト情報データベース（NDB）と介護保険レセプト情報データベース（介護DB）のデータを連結し、公益性を有する研究を行う自治体や民間事業者等に提供できるようにすること。
- ④75歳以上の高齢者の保健事業について、市町村における介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施できるようにすること。
- ⑤健康保険の被扶養者認定において、海外留学生等の一部を除き、国内居住し

ていることを原則とすること。
等を規定することにより、医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るとして
います。なお、この法案に規定する基金の創設に関しては、消費税財源を活用
した300億円を来年度予算案に計上しています。